

令和2年度 第5回学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年3月3日(水)16:00～17:00

場 所 逗子高等学校 会議室

<出席者>

(委員) 関、村上、村川、矢島、川島、立川、大下 (敬称略)

(学校) 校長、副校長、教頭、木下、澤野、小池、藤井、下山田、新村

<議 事>

1 校長あいさつ

緊急事態宣言の中、昨日(3月2日)令和2年度の卒業式を無事挙行することができました。今年度は3年生の保護者1名ずつの参加を認め、非常に厳粛な雰囲気の中で立派な卒業式を行うことができました。卒業生、保護者ともに感動していただけた式典だったと思います。

さて、今年度もあと1ヵ月を切りましたが、未だに感染状況が改善されず緊急事態宣言が解除されるかどうか微妙な状況です。今後も予断を許さない状況が続くと思われませんが、学校としての的確に状況を把握し、正確な情報を的確にお伝えするよう心掛けていきます。今後も引き続き、ご理解、ご協力をお願いします。

2 令和2年度 学校評価報告書(実施結果)における学校関係者評価の検討について

(1) 書面による事前協議結果一覧表の確認

(2) 各部会ごとの検討、意見交換

①学力向上部会→「1. 教育課程学習指導」「5. 学校管理学校運営」の項目を検討

②地域連携部会→「2. 生徒指導支援」「4. 地域等との協働」の項目を検討

③キャリア部会→「3. 進路指導支援」「5. 学校管理学校運営」の項目を検討

(3) 各部会ごとの検討結果報告及び全体のまとめ

①学力向上部会

- ・Google Classroomなどによるオンライン授業の可能性と問題点について協議、意見交換を行った。
- ・ICT機器の活用により、従来の対面型授業では意見発信が難しかった生徒にも発言等の機会が増えたことには一定の評価ができる。
- ・教員と生徒との質疑で「限定公開コメント」機能を利用する際は、適切な運用をできるように教員の意識を高める必要がある。
- ・臨時休校等に対応するための完全なリモート授業だけでなく、通常の対面授業でも効果的にICT機器を活用する授業形態の研究・実践を一層進める必要がある。

②地域連携部会

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、厳しい状況の中での地域連携教育活動であったが、厳しい状況の中でもよくやったという評価をいただいた。
- ・10年間の集大成として行ったワークショップは素晴らしい発表であった。生徒が「やらされている」のではなく、自分の言葉で発表しており、生徒の熱意を感じた。
- ・講師の方々はこの講座の講師を務めることで年々教えるスキルが上達した。また、学校の教員も刺激を受け、日々の授業に生かすことができた。相互に向上できたように思う。
- ・前年度の反省を踏まえ、早い時期より担当者が連絡をとって企画していったので、年々良いものになっていった。今年の充実は今までの蓄積の賜物と思われる。

③キャリア部会

- ・現3年生の進路状況について説明した。大学受験に失敗し、専門学校や就職に進路変更する生徒もいた。
- ・大学受験一辺倒であった進路指導も生徒のニーズに合った進路指導を実践するようになった。
- ・推薦試験等に対応するため、小論文指導を充実させるように取り組んでいる。
- ・今年からキャリアパスポートが全校で実施となった。本校では数年前から「今未来手帳」を活用した取り組みを行っている。→日頃から文章を書くことや日程や予定など確認するために手帳をこまめに活用することは進路実現に向けてとてもよい取り組みであるとの意見があった。

3 次年度に向けて

- ・次年度委員の委嘱について
→ 次年度もできることなら今年度の委員の方々に継続して委員をお願いしたい。(副校長より)

(参考) 次年度年間計画

| | 予 定 日 | 概 要 |
|-----|------------------|-------------------------------------|
| 第1回 | 2021年 5月 26日(水) | 顔合わせ、学校評価報告書(目標設定) |
| 第2回 | 2021年 6月 18日(金) | 合唱コンクール見学 |
| 第3回 | 2021年 7月 7日(水) | 各部会の意見交換(今年度の取組みについて) |
| 第4回 | 2021年 10月 20日(水) | 学校評価報告書(中間評価) |
| 第5回 | 2021年 12月 8日(水) | 地域等との協働の取組状況 (地域インタビュー・ワークショップ等) |
| 第6回 | 2022年 3月 9日(水) | 学校評価報告書(実施結果・最終評価) |